

熊野川の新たな取組方針に関する進捗状況等を確認

～第10回「熊野川減災協議会」を開催～

～紀南河川国道事務所～

熊野川減災協議会では、平成28年7月に「熊野川の取組方針」を策定後、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、令和4年3月に概ね5ヶ年を目途とし、新たな取組方針を改定しました。

第10回となる今回の協議会では、取組進捗状況の情報提供を通して各機関の取組の横展開を図るとともに、新たな5ヶ年の節目となる本年度時点の総括、及び今後の展開について確認しました。

第10回熊野川減災協議会の概要

■日時：令和6年1月15日(月) 15時00分～16時00分

■場所：WEB会議

■委員：新宮市長、田辺市長(代理)、北山村長、紀宝町長、熊野市長(代理)、
気象庁 和歌山地方気象台長、津地方気象台長、和歌山県県土整備部長
(代理)、三重県県土整備部長(代理)、紀南河川国道事務所長

■オブザーバ：電源開発(株)西日本支店長代理、関西電力(株)吉野水力センター所長、
西日本旅客鉄道(株)和歌山支社地域共生室課長(代理)

- 議事 ①【審議】規約の改定について
②【報告】令和5年度の出水状況
③【情報共有】令和5年度の取組実施状況
④【情報共有】熊野川減災協議会の今後の展開
⑤【情報共有】その他情報提供



各機関の取組事例

【新宮市】……「Web版新宮市ハザードマップ」を使用した出前講座、郵便局との相互協力協定による市内の全郵便ポストへのQRコード掲載

【田辺市】……河川監視カメラ・水位計設置による避難判断効率化、防災行政無線戸別受信機設置、メール・SNSによる情報提供体制の強化

【紀宝町】……デジタル新技術の活用

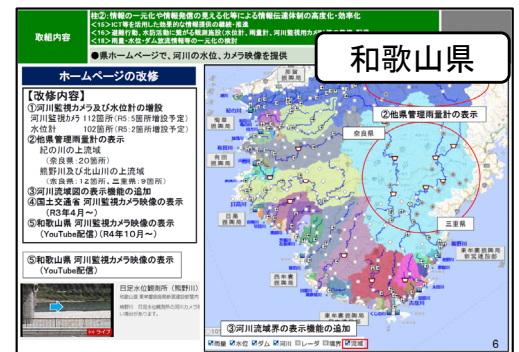
【和歌山県】……水害リスク情報の空白域解消、水位計・河川監視カメラの設置、県ホームページ改修、築堤・護岸整備(輪中堤)

【三重県】……危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置、裏法保護工

【気象台】……線状降水帯の予測精度向上に向けた取組強化・加速化

【紀南河川】……熊野川河道掘削、WEB会議危機感共有、防災授業、オンライン学習ツール、市田川排水機場見学会、DX意見交換会・出前授業

【電源開発】……事前放流による空き容量の確保、ダム放流量の低減



情報提供内容

・「熊野川流域タイムライン」拡大 ・ワンコイン浸水センサ ・和歌山県域メディア連携協議会

委員からの 発言内容

- 市田川排水機場、浮島川排水機場の整備が完了。これまで以上に連携いただきながら、遅れることなく着実に取組を実施し、防災・減災につなげていきたい。〈新宮市長〉
- リアルタイム映像可搬システム等のデジタル新技術の活用に努め、情報伝達体制の高度化・効率化を推進するとともに、あらゆる災害から一人でも多くの命を守ることを最優先に、ハードとソフト、タイムラインの活用と充実など、様々な取組を進めていきたい。〈紀宝町長〉

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 流域治水課
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)